

「瀬戸内海クルーズ推進会議」第2回中国エリア会議を開催しました

○中国エリアにおける瀬戸内海クルーズの更なる推進を目的として「瀬戸内海クルーズ推進会議」の下に設置された「瀬戸内海クルーズ推進会議 中国エリア会議」では、2月7日(木)の第1回会議において、瀬戸内海クルーズの推進に向けた取組みの強化について議論を行ったところです。

○3月25日(月)、中国エリアにおける瀬戸内海クルーズの推進強化を目的に、「瀬戸内海クルーズ推進会議 第2回中国エリア会議」を開催しました。

○当会議では、瀬戸内海クルーズ推進会議として進める取組事項に関して、進捗報告を行うとともに、今後の更なる取組みについて、構成員による意見交換を行いました。

開催概要

【開催日】平成31年3月25日(月) 15:00~16:00

【場 所】広島合同庁舎 4号館 2階 共用第11号会議室

【次 第】(1)取組1・取組2に係る取組みについて
(2)取組3~取組5に係る取組みについて
(3)今後の進め方について

＜主な意見内容＞

- アクションプランは、港湾毎ではなく、受入れ地毎、その中で、玄関として港湾を選ぶイメージではないのか。
- 海からクルーズ客をお迎えするのは、必ず、どこかの港に寄港することになる。そこでの受入れと、背後にある観光地は、広域でも良いし、大きなものがひとつでも良い、色々なパターンがあるのではないのか。
- 港でのお迎えと観光地でのアクセスは、必ず、必要な要素である。ある港に着目し、その地域の観光をして頂くためのお迎えとアクセス、おもてなしのために必要なことをまとめるのが、アクションプランなのではないか。
- 基本的な単位として、入り口はこちらの港、出口はこちらの港、その観光地は両方の港がサポートするというケースも出てくるかもしれない。それぞれの港、観光地が受け入れ環境を整え、連携を図っていくというアクションプランも考えられるのではないのか。
- すでに地方自治体で開設しているクルーズ船の受付窓口と、瀬戸内海クルーズ推進会議の取組みの1つであるワンストップ窓口について、どのように差別化を図るべきかを考える必要があるのではないのか。



「瀬戸内海クルーズ推進会議」第2回中国エリア会議 開催状況

瀬戸内海クルーズ推進会議として進める具体的な取組み

○瀬戸内海クルーズ推進会議第1回全体会議において承認された5つの取組事項に基づき、具体的な取組みとして、以下の項目を進めることとする。

瀬戸内海クルーズ推進会議として進める取組み	具体的な取組み
<p>【取組1】 港湾での受入環境改善</p> <p>【取組2】 港から観光地へのアクセス性向上</p>	<p><u>各港の課題整理に向けた基礎調査の実施と課題の整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各港における「港湾での受入環境」、「港から観光地へのアクセス性」に関する課題整理に向けた基礎調査を実施し、課題を整理 <p><u>『アクションプラン』を策定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 課題の整理結果を基に、各対象港湾ごとに『アクションプラン』を関係構成員が策定 ■ アクションプランに基づき、「港湾での受入環境改善」、「港から観光地へのアクセス性向上」を図る
<p>【取組3】 瀬戸内海クルーズとしての情報発信</p>	<p><u>情報プラットフォームの構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 外航船社等を対象に、寄港地の港湾施設情報や観光地情報を発信する「瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム」のプロトタイプを構築をし、瀬戸内海クルーズとしての情報発信を開始し、以後、改善と情報の充実を図り、本格運用
<p>【取組4】 船社への誘致活動</p>	<p><u>ワンストップ窓口体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ クルーズ船社からの各種問い合わせに対し、窓口を一本化して情報提供することを目的として、「瀬戸内海Consultation Service(相談窓口)」を開設する。問い合わせ窓口の一元化を通じ、瀬戸内海クルーズの活性化を図る <p><u>シートレードグローバル等への参加</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 2019年4月に米国フロリダ州で開催される世界最大級のクルーズ見本市である『シートレードグローバル2019』へ参加し、「瀬戸内海クルーズ」を対外発信することでクルーズ船誘致に寄与する
<p>【取組5】 クルーズ船の航行・寄港に関するサポート体制の充実</p>	<p><u>船社等へのヒアリング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 船社等へのヒアリングを通じて、サポート体制の検討を行うとともに、サポート体制の構築及び充実を図る ■ 定期的に船社ヒアリングを実施し、ヒアリング結果の「瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム」への反映をはじめ、各取組のブラッシュアップに活用